

一九二
毫モ其發起スル餘地ナケレハ即チ其意ノ偶態タルニ過
キサルコトハ本章ノ説明ニテ判然ナル可シ

第六節 結論

茲ニ意論ヲ終リ即チ本書ヲ脱稿スルニ當リ心理學ヲ攻
究シ以テ身ヲ潤スノ材料ニ供セシコトヲ冀フモノ、爲
メ道義的習慣ノ養成ニ關スル箇條ヲ列舉シ以テ結論ニ
代ヘントス

- 第一 道義的習慣ハ情及ヒ意ニ關スル把住作用ヨ
リ成立ス
- 第二 此把住作用ハ一般把住作用ト同様ノ條件ヲ

實 用 心 理 學

意

論

包含ス

(甲) 反復

(乙) 注意

(丙) 賦性

第三 道義的習慣ノ養成ニ特別ナル條件アリ

(甲) 誘導(即チ激因ヲ強盛ナラシムルコト)

(乙) 漸進(即チ過度ノ要求ヲ爲サ、ルコト)

第四 此養成ノ細項ハ左ノ如シ

(一) 官覺及ヒ體欲上ノ修練

(二) 諸情全般ニ關スル修練

(三) 特殊ノ情ニ關スル修練

(イ) 自由 (ロ) 恐怖 (ハ) 愛戀 (ニ) 自己 (ホ) 權勢

- (四) (一) 意ノ作用ニ關スル修練
- (二) 活動上ノ修練
- (三) 耐忍上ノ修練
- (四) 智ノ指揮ニ關スル修練

一九四

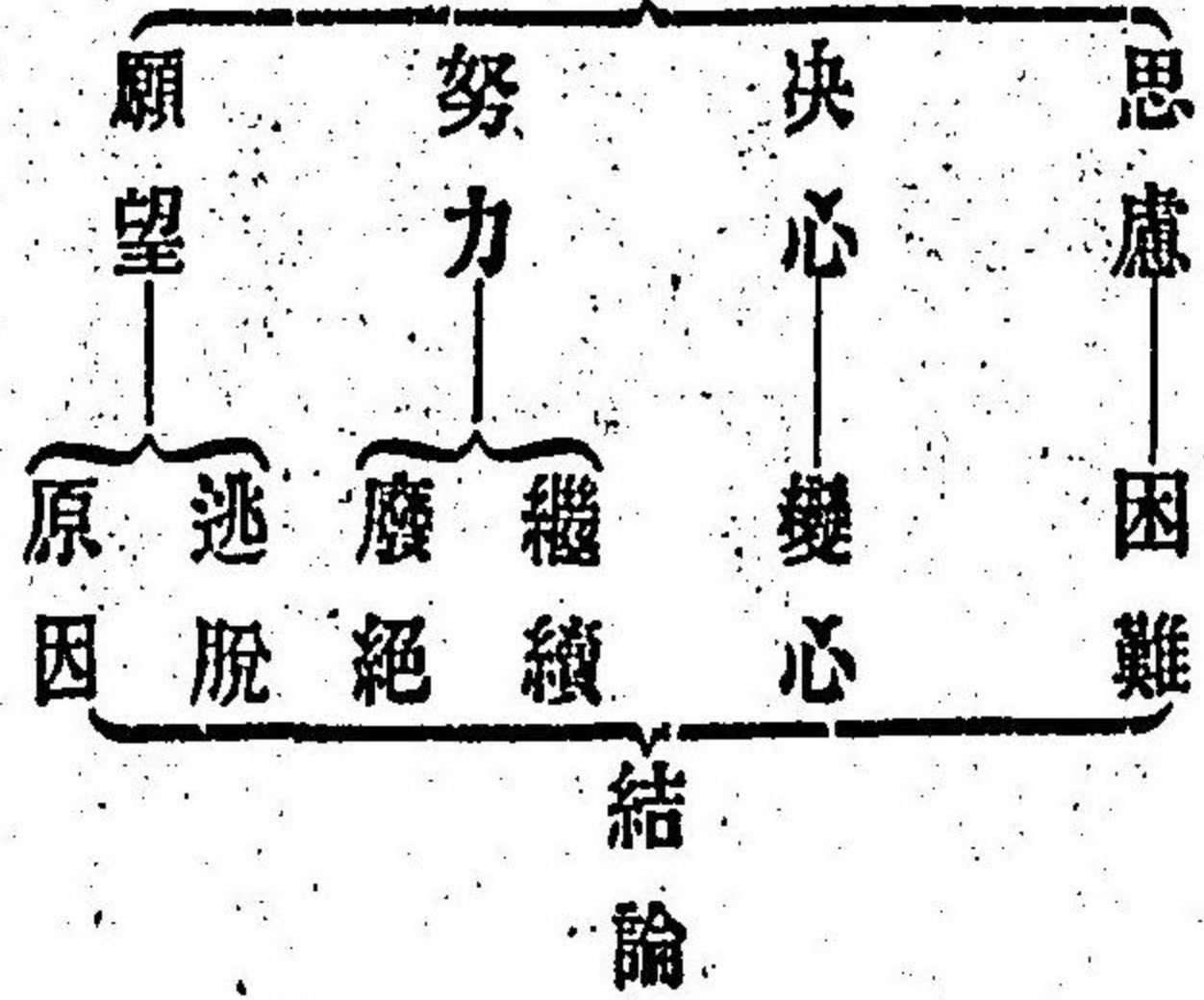
- (一) 知力凝集ノ修練
- (二) 觀念除去ノ修練

是レ人ヲ造ルノ要訣ナリ之ニ由テ其養成ヲ遂クルハ
 人ノ性質ハ殆ント之ヲ豹變スルコトヲ得ヘシ勿論右ノ
 箇條ヲ舉テ實施スルノ難キハ言ヲ俟タスト雖モ是レ唯
 タ空談學者ノ囂語ニ非スシテ凡ソ此世ニ立チ人タルノ
 舉動ヲ爲サント期スルモノハ其貧富貴賤ヲ問ハス皆ナ

幾許カ之ニ由テ自ラ其己ヲ鍊磨スルカ又ハ他ヨリ鍊磨
 セラレサルヲ得サルハ亦タ火ヲ觀ルヨリ明ナリ故ニ先
 ツ少シモ心理ノ大體ニ通スルノ必須アルハ總論第一章
 第一節ニ喋々シタルカ如シ古人曰ク「世界ハ我ナリ我ハ
 心ナリ心ヲ知ラスシテ豈ニ我ヲ知ラシヤ况ンヤ他ヲヤ」
 ト而シテ我ヲ知ラス他ヲ知ラサルモノハ我ヲ知リ他ヲ
 知ルモノニ比スレハ同一様ノ勤勉正誠ヲ以テ世ニ處ス
 ルモ其結果ニ至テハ則チ雲壤ノ差アリ然リ而シテ我ヲ
 知ラサルモノハ固ヨリ我カ愚ヲ悟ラズ徒ニ他ノ榮達ヲ
 妬ミ或ハ不平胸ニ滿テ常務ニ從事スル能ハス或ハ絶望
 自棄シテ唯々情欲ノ奴隸ト爲リ以テ其身ヲ終リ更ニ悔
 ル所ナシ是レ豈ニ人タルモノ、實相ナラシヤ

第四章ノ圖表

意ノ偶態—本態—偶態



問 題

- 一 心理學ノ目的并ニ利用ヲ論セヨ
- 二 心理學ヲ定義シ其主題トナル所ヲ明ニセヨ
- 三 心ノ現象トハ如何ナルモノヲ云フヤ
- 四 心ノ現象ヲ穿鑿スル方法ヲ論セヨ
- 五 心理學ト他ノ理學トノ關係ヲ明ニセヨ
- 六 心身ノ關係トハ如何ナルコトヲ云フヤ
- 七 情ノ表出ヲ詳記セヨ
- 八 體軀ノ變動カ心ニ及ホス影響ハ如何
- 九 心ノ變動ノ結果ハ如何
- 一〇 腦髓ノ作用ハ如何

問題(此問題ハ本書講究ノ結果ヲ自驗セント欲スルモ
ノ、爲メニ之ヲ設ケリ敢テ他ノ目的アルニ非ス)

- 二 心ノ働ト腦髓トノ關係ヲ證セヨ
- 三 官覺ハ純然タル心ノ作用ナリヤ
- 三 官覺ノ種類ヲ枚舉セヨ
- 四 能動覺ト所動覺トノ區別ハ如何
- 五 能動覺ノ特用ヲ指示セヨ
- 六 能動覺ノ諸種類ヲ枚舉シ一々之ヲ解釋セヨ
- 七 機體覺ト五官覺トノ區別ヲ明ニセヨ
- 八 筋肉ノ所動覺ヲ解釋セヨ
- 九 神經覺及ヒ營養覺ヲ解釋セヨ
- 〇 呼吸覺ハ如何ナル場合ニ起ルモノナリヤ
- 一 寒暖覺ト觸覺トノ區別ハ如何
- 二 寒暖覺ト觸覺トノ區別ハ如何
- 三 食道覺ト味覺トノ區別ハ如何

- 三 味覺ノ諸種ヲ區別セヨ
- 四 味覺ノ本分作用ヲ明ニセヨ
- 五 嗅覺ノ銳利ナル場合ト鈍大ナル場合トヲ區別セヨ
- 六 嗅覺ノ第三種ヲ解釋セヨ
- 七 觸覺ノ第一種ヲ解釋シ殊ニ其意ニ及ホス影響ヲ明ニセヨ
- 八 觸覺ノ第二種ニ屬スル特質ヲ詳説セヨ
- 九 觸覺ノ第三種ヲ解釋シ殊ニ其空間ノ觀念ニ關スル所ヲ細論セヨ
- 〇 聽覺ノ第一種ト第二種トノ區別ヲ明ニセヨ
- 一 聽覺ノ第三種ニ屬スル特質ヲ詳説セヨ

三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

視 覺 ハ 何 種 ニ 之 ヲ 區 別 ス 可 キ ヤ

視 覺 ノ 本 分 作 用 ヲ 解 釋 セ ヨ

視 覺 ノ 供 給 ス ル 快 樂 ヲ 詳 述 セ ヨ

現 動 現 形 距 離 等 ノ 觀 念 ニ 關 ス ル 視 覺 ノ 作 用 ヲ 細

論 セ ヨ

容 積 ニ 關 ス ル 視 覺 ノ 作 用 ヲ 細 論 セ ヨ

所 動 覺 ヲ 彙 類 セ ヨ

體 欲 ヲ 定 義 セ ヨ

人 造 的 體 欲 ヲ 解 釋 セ ヨ

體 欲 ハ 制 止 ス 可 カ ラ サ ル モ ノ ナ ル ヤ

本 能 ヲ 定 義 セ ヨ

智 情 意 ハ 本 能 ナ リ ヤ

三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

反 射 作 用 ヲ 解 釋 セ ヨ 且 ツ 之 レ ト 自 發 運 動 ト ノ 區

別 ヲ 明 ニ セ ヨ

調 和 運 動 ノ 段 階 ヲ 列 叙 セ ヨ

情 ノ 表 出 ニ 二 種 ア リ 之 ヲ 例 ヲ 設 ケ テ 之 ヲ 解 釋 セ

ヨ

意 ノ 萌 芽 ト ハ 如 何 ナ ル モ ノ ナ ヲ 云 フ ヤ

智 ノ 作 用 ヲ 彙 類 ス ル 方 法 ハ 如 何

智 ヲ 定 義 セ ヨ

智 ノ 作 用 ノ 材 料 ハ 如 何

注 意 ヲ 定 義 セ ヨ

注 意 ノ 範 圍 ト 其 分 量 ト ノ 關 係 ヲ 明 ニ セ ヨ

注 意 ノ 分 量 ヲ 制 ス ル 條 件 ヲ 詳 記 セ ヨ

三 二 一 〇 九 八 七 六 五 四 三 二 一

注意上心象ト物象トノ勢力ノ差點ヲ指示セヨ
 注意ニハ如何ナル種類アリヤ
 知覺ト官覺トノ區別ハ如何
 知覺ノ諸歩ヲ例解セヨ
 知覺ヲ定義セヨ
 受識トハ如何ナル作用ヲ云フヤ
 知覺ノ作用ヲ解剖セヨ
 我カ身體ヲ知覺スル摸樣ヲ詳記セヨ
 身體ト外界トノ關係ハ如何
 聽覺ニ關スル知覺ノ作用ヲ細記セヨ
 觀察トハ如何ナル作用ヲ云フヤ
 觀察ノ明確トハ如何ナルコトヲ云フヤ

一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇

知覺發達ノ順序ヲ列叙セヨ
 受識作用ノ大要ヲ指示セヨ
 受識作用ノ理法ヲ述ヘヨ
 受識作用ト留識作用トノ關係ヲ説明ニセヨ
 留識作用ヲ定義セヨ
 留識作用ノ第一種ヲ解釋セヨ
 記憶トハ如何ナル作用ヲ云フヤ
 記憶ト知覺トノ關係ヲ細論セヨ
 記憶ノ程度ニ關係スル條件ハ如何
 印象ノ深濃トハ如何ナルコトヲ云フヤ
 印象ノ深濃ヲ致ス項款ヲ例解セヨ
 聯合律ヲ説明セヨ

七 六 五 四 三 二 一

接近聯合トハ如何ナルコトヲ云フヤ且ツ之ヲ例
解セヨ

聯合ノ度ニ關係スル條件ヲ指示セヨ

事物ノ記憶ハ如何ニ組織セラレハヤ

言語ノ聯合ハ如何ニシテ行ハルハヤ

時間ノ觀念ハ如何ナル成分ヲ含有スルヤ

時間ノ觀念ハ如何ニシテ獲得セラレハヤ之ヲ詳
述セヨ

類似聯合ヲ例解セヨ

反對聯合ヲ説明シ「異ハ同ノ基アリ」ト云フコトヲ
例解セヨ

複雜聯合ヲ例解セヨ

六 五 四 三 二 一

留識作用ノ諸度ヲ列叙セヨ

留識ノ材料ト年齢トノ關係ヲ説明セヨ

留識作用ト用識作用トノ關係ヲ説明セヨ

留識作用講究ノ諸點ヲ圖表セヨ

用識作用ヲ定義セヨ

用識作用ノ二大種ヲ解釋セヨ

具體ト虚形トノ區別ヲ説明セヨ

想像作用ノ二大種ヲ解釋セヨ

想像ノ基因上ノ區別ハ如何

實態想像トハ如何ナルコトヲ云フヤ

美態想像トハ如何ナルコトヲ云フヤ

想像ノ目的上ノ區別ハ如何

- 109 想像ノ利害ヲ詳論セヨ
- 110 人ニヨリ想像作用ノ差異アル所以ヲ説明セヨ
- 111 想像ト推理トノ區別ハ如何
- 112 推理ヲ定義シ其諸種ノ區別ヲ例解セヨ
- 113 推理ハ用識作用中ニ如何ナル位置ヲ占ムルヤ
- 114 概括作用ヲ説明セヨ
- 115 實體說ヲ例解セヨ
- 116 概念說ヲ例解セヨ
- 117 名稱說ヲ例解セヨ
- 118 實體說概念說并ニ名稱說ノ要點ヲ指示セヨ
- 119 總念ト名稱トノ關係ハ如何
- 120 總念ノ完全又ハ不完全ナル所以ヲ説明セヨ

- 121 斷定作用ヲ定義セヨ
- 122 斷定ニハ如何ナル區別アリヤ
- 123 斷定ノ完全又ハ不完全ナル所以ヲ説明シ且ツ其完全ナル場合ヲ指示セヨ
- 124 斷定ノ迅速ナルニ必要ナル條件ヲ説明セヨ
- 125 斷定ノ強弱ヲ論セヨ
- 126 本分推理ヲ説明セヨ
- 127 默認推理トハ如何ナルコトヲ云フヤ
- 128 發表推理ニハ如何ナル區別アリヤ
- 129 歸納ト演繹トノ區別ヲ説明セヨ
- 130 推理ト斷定トノ關係ヲ例解セヨ
- 131 推理ノ優劣アル所以ヲ説明セヨ

- 三 智ノ作用ノ大要ヲ指示シ且ツ用識作用ノ重要ナル所以ヲ説明セヨ
- 三三 情ノ性質ヲ説明セヨ
- 三四 中性ノ情トハ如何ナルモノヲ云フヤ斯カル情ノ存スルコトアリヤ
- 三五 情ノ身體上ノ面相ヲ説明セヨ
- 三六 情ヲ研究スル利益ヲ枚舉セヨ
- 三七 情ヲ彙類セヨ
- 三八 現覺ノ情ヲ説明セヨ
- 三九 本分ノ情ヲ説明セヨ
- 四〇 單情ノ諸類ヲ枚舉セヨ
- 四一 相對ノ情トハ如何ナルモノヲ云フヤ

- 三二 相對ノ情ノ諸種ヲ枚舉シ及ヒ新奇ノ情ノ諸態ヲ説明セヨ
- 三三 驚駭ノ情ト高妙ノ情トノ關係ハ如何
- 三四 自由ノ情ヲ説明セヨ
- 三五 壓抑ノ苦痛ヲ説明セヨ
- 三六 恐怖ノ情ト現在ノ苦痛トノ關係ハ如何
- 三七 恐怖ノ諸態ヲ枚舉シ殊ニ奴隸的恐怖ヲ例解セヨ
- 三八 心配トハ如何ナルコトヲ云フヤ之ヲ細論セヨ
- 三九 絶命ノ恐怖ヲ分解セヨ
- 四〇 愛戀ノ情ヲ説明セヨ
- 四一 愛戀ノ情ヲ惹起スル原因ヲ枚舉セヨ
- 四二 母ノ子ニ於ケル情ハ如何

- 一四 父ノ子ニ於ケル情ハ如何
- 一四 男女ノ情ヲ組織スル成分ヲ指示セヨ
- 一四 下等動物及ヒ無感物ニ對スル愛戀ノ情ヲ解釋セヨ
- 一四 欽仰ノ情ヲ説明セヨ
- 一四 尊重ノ情ヲ惹起スル原因ヲ指示セヨ
- 一四 自己ノ情ト愛戀ノ情トノ區別ハ如何
- 一四 自己ノ情ノ第一種ヲ説明セヨ
- 一四 自負ノ情ニ反スル苦痛ヲ説明セヨ
- 一四 自己ノ情ノ第二種ニ屬スル快樂及ヒ苦痛ヲ例解セヨ
- 一五 自己ノ情ノ道義的勢力ヲ詳論セヨ

- 一三 權勢ノ情ト自由ノ情トノ區別ハ如何
- 一三 權勢ノ情ノ諸態ヲ枚舉シ其最モ著明ナルモノヲ指示セヨ
- 一四 權勢ノ情カ社會ニ及ホク影響ヲ説明セヨ
- 一四 無力ノ情ヲ説明セヨ
- 一四 忿怒ノ情ヲ組織スル元素ヲ枚舉セヨ
- 一四 忿怒ノ情ノ道義的勢力ヲ詳論セヨ
- 一四 忿怒ノ情ノ諸種及ヒ諸態ヲ指示セヨ
- 一四 忿怒ノ情ト同情トノ關係ハ如何
- 一四 追求ノ情ト作業ノ快樂トノ區別ハ如何
- 一四 追求ノ情ヲ例解セヨ
- 一四 追求ノ情ヲ惹起スル條件ヲ指示セヨ

- 二三 追求ノ情ノ諸種ヲ枚舉シ殊ニ其我レ一個ノ活動ヨリ生スルモノヲ例解セヨ
- 二四 追求ノ快樂ニ反スル苦痛ヲ指示セヨ
- 二五 複情ノ性質ヲ説明セヨ
- 二六 同情ヲ定義セヨ
- 二七 同情ヲ惹起スルニ必要ナル條件ヲ詳記セヨ
- 二八 同情ノ發動ヲ補助スル條件ヲ枚舉シ其一二ヲ例解セヨ
- 二九 同情ヲ獎勵スルノ必要ナル所以ヲ述ヘヨ
- 三〇 知力ノ情ノ範圍ヲ指示セヨ
- 三一 知力ノ情ノ成分ヲ詳記セヨ
- 三二 知力ノ情ヲ惹起スル場合ヲ指示セヨ

- 一三 知力ノ情ノ快樂ニ反スル苦痛ヲ説明セヨ
- 一四 理想ノ情ト知力ノ情トノ關係ハ如何
- 一五 理想ノ情ノ性質ヲ詳記セヨ
- 一六 理想ノ情ノ人ヨリ相ヒ異ナル原因ヲ説明セヨ
- 一七 理想ノ情ヲ惹起スル條件ヲ枚舉シ一々之ヲ例解セヨ
- 一八 理想ノ情ノ道義的影響ヲ述ヘヨ
- 一九 美妙ノ情ヲ定義セヨ
- 二〇 美妙ノ情ノ特質ヲ詳記セヨ
- 二一 美妙ノ情ノ公共無私ナルコトヲ例解セヨ
- 二二 美妙ノ情ノ原因タル材料ヲ説明セヨ
- 二三 比例對均及ヒ調和ヲ説明セヨ

實 用 心 理 學

- 一四 美妙ノ情ト理想作用トノ關係ヲ指示セヨ
- 一五 高妙ノ情ヲ例解セヨ
- 一六 滑稽ノ情ヲ例解セヨ
- 一七 美妙ノ情ノ範圍ヲ論定セヨ
- 一八 道義ノ情ヲ定義セヨ
- 一九 道義ノ情ノ特質ヲ説明セヨ
- 二〇 道義ノ情ノ元素ヲ指示セヨ
- 二一 道義ノ情ト外部ノ勢力トノ關係ハ如何
- 二二 本務ニ對スル感激ハ如何ニシテ生スルヤ
- 二三 良心トハ如何ナルモノヲ云フヤ
- 二四 情ト智意トノ關係ヲ畧述セヨ
- 二五 複情ノ大要ヲ圖表セヨ

問 題

- 一六 意ノ性質ヲ指示セヨ
- 一七 意ノ原成分ヲ指示セヨ
- 一八 自發運動ヲ説明セヨ
- 一九 自發運動ノ本源ヲ指示セヨ
- 二〇 自發運動カ意ノ成分タルニ必要ナル條件ハ如何
- 二一 自發運動ノ勢力ノ起因スル所ヲ説明セヨ
- 二二 自護作用ヲ解釋セヨ
- 二三 自護作用ニハ如何ナル支派アリヤ且ツ其意ノ成
- 二四 分ヲ組織スルモノヲ指示セヨ
- 二五 外見上自護作用ニ背反スル快樂ヲ例解セヨ
- 二六 苦痛ハ自護作用ニ對シテ如何ナル勢力アリヤ
- 二七 意ノ生長スル概則ヲ詳記セヨ

- 二〇七 意ノ生長ノ第一步及ヒ第二步ヲ説明セヨ
- 二〇八 意ノ生長ノ第三步ハ如何
- 二〇九 意ノ生長ノ第四步ハ如何
- 二一〇 意ノ生長ノ極點ヲ例解セヨ
- 二一一 意カ情及ヒ思想ヲ指揮スル媒介ハ如何
- 二一二 意カ情ヲ指揮スル限界及ヒ状態ヲ説明セヨ
- 二一三 意カ某レ情ヲ指揮スル能ハサルハ主トシテ如何ナル原因ニ由ルヤ
- 二一四 意ハ如何ナル方法ニテ思想ヲ指揮スルヤ
- 二一五 思想ノ指揮ハ如何ナル利用アリヤ
- 二一六 能動想像ト思想ノ指揮トノ關係ヲ指示セヨ
- 二一七 智情ノ互制ヲ解釋セヨ

- 二一八 智情ノ勢力カ意ニ反對スル場合ヲ説明セヨ
- 二一九 意ノ激因ハ如何ナルモノヨリ成立スルヤ
- 二二〇 激因ノ諸種ヲ枚擧シ殊ニ理想的快樂苦痛ノ勢力ヲ詳論セヨ
- 二二一 媒介カ目的ニ變スル場合ヲ例解セヨ
- 二二二 意ノ正當作用ヲ障碍スル諸件ヲ説明セヨ
- 二二三 觀念留存ノ勢力ヲ詳論セヨ
- 二二四 激因ノ抵觸トハ如何ナルコトヲ云フヤ
- 二二五 激因ト身體ノ状態トノ抵觸ヲ説明セヨ
- 二二六 激因ノ抵觸スル諸種ノ場合ヲ枚擧シ其最モ較著ナルモノヲ例解セヨ
- 二二七 意ノ本能ト偶態トノ區別ハ如何

- 三六 思慮ヲ説明セヨ
- 三六 思慮中ニ存スル苦痛ノ性質ヲ詳記セヨ
- 三六 思慮ノ錯雜ヲ防ク方法ハ如何
- 三六 思慮ノ困難ヲ説明セヨ
- 三六 決心トハ如何ナルコトヲ云フヤ
- 三六 決心ノ變更スル場合ヲ指示セヨ
- 三六 反覆ノ奴隸トハ如何ナルモノヲ云ヤ
- 三六 努力トハ如何ナルコトヲ云フヤ且ツ之ヲ例解セヨ
- 三六 努力ト願望トノ區別ハ如何
- 三六 願望ニハ如何ナル苦痛ヲ存スルヤ
- 三六 願望ノ苦痛ヲ免ル方法ヲ指示セヨ

- 三六 克己トハ如何ナルコトヲ云フヤ
- 三六 願望ヲ惹起スル原因ヲ詳記セヨ
- 三六 願望ト固定觀念トノ關係ヲ説明セヨ
- 三六 意ノ作用ノ大要ヲ圖表セヨ
- 三六 道義的習慣ノ養成ヲ論述セヨ
- 三六 心ヲ研究スルニハ如何ナル方法ヲ用フルヲ最モ便利トスルヤ
- 三六 心ノ諸現象及ヒ其諸種類ノ相ヒ關係スル模様ヲ圖表セヨ
- 三六 心理學ヲ研究スル際ノ所感ハ如何
- 三六 心理學中ノ最モ難倔ナル部分ヲ指示セヨ
- 三六 心理學中ニテ最モ研究スル價值アル部分ヲ指示

二 究
 心理學ノ研究ト他ノ理學ノ研究トノ異同ヲ細論セヨ

三 善
 心理學ノ研究ヨリ生スル結果ヲ詳記シ殊ニ其一身ノ行爲ニ關係スル點ヲ説明セヨ

實用心理學下卷終

明治二十五年十一月二十日印刷
 明治二十五年十一月二十五日出版

定價金六拾錢

著 者

國 府 寺 新 作

東京府北豐島郡妙義坂下町二番地

發 行 者

酒 井 清 藏

東京府神田區表神保町五番地

發 行 者

河 出 靜 一 郎

東京府日本橋區本材木町一丁目二十一番地

印 刷 者

杉 原 辨 次 郎

東京府京橋區元數寄屋町四丁目杉原活版所



版權登錄

發賣所

三浦源助
岐阜市米屋町

發賣所

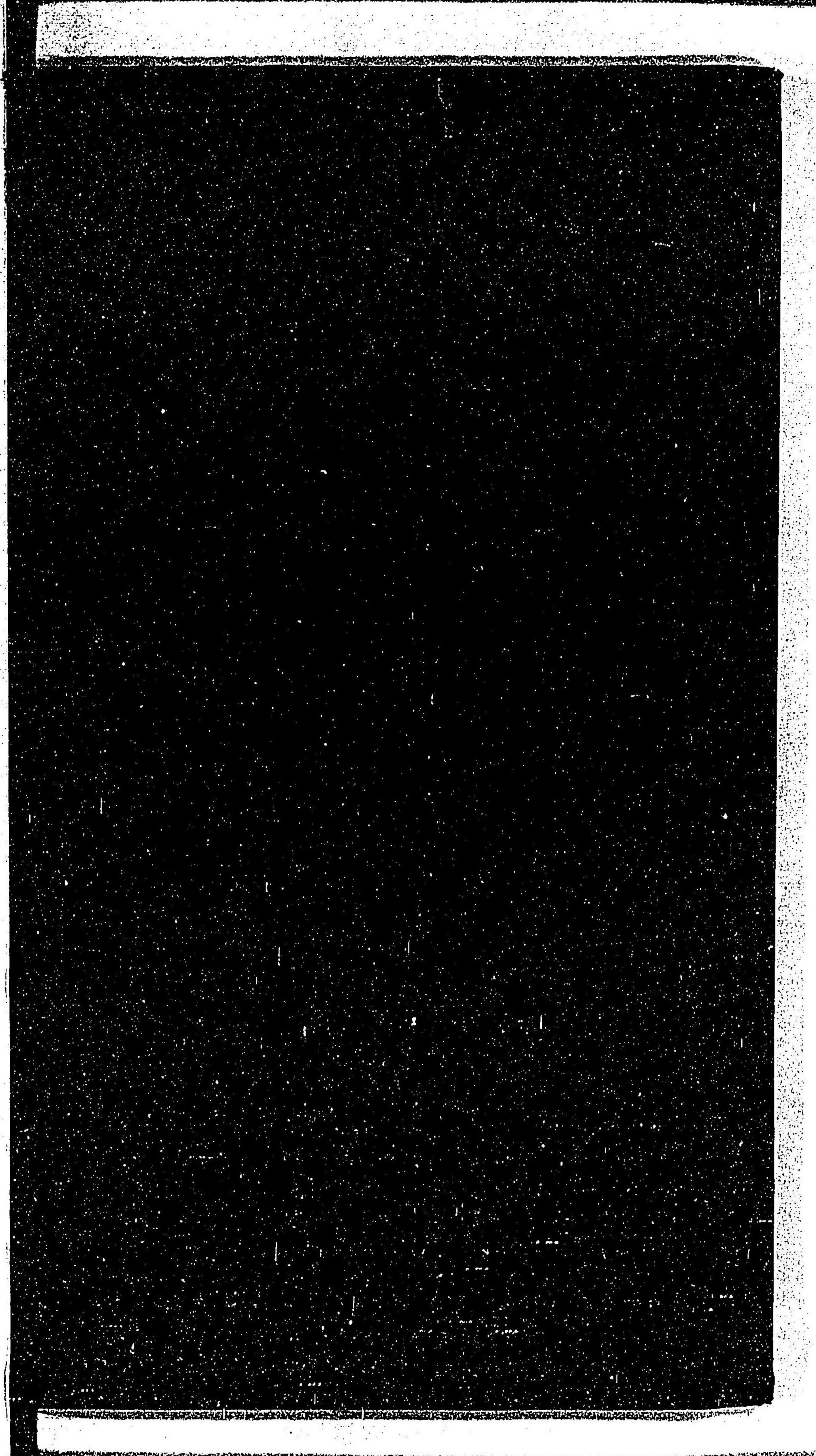
石井鈎三郎
大坂備後町四丁目

發賣所

松村九兵衛
大坂心齋橋筋南壹丁目

17

244



17

244

